



黒田 達朗

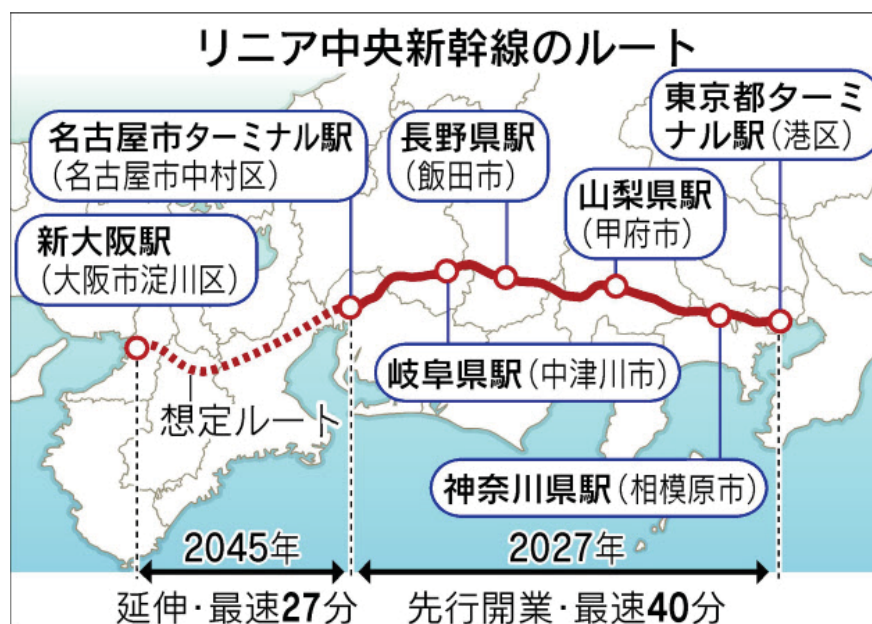


【リニア中央新幹線の計画】

東京-名古屋は2027年開業(40分 ← 94分)

東京-大阪は2045年開業 (67分 ← 147分)

(東京から名古屋は700円増、大阪までは1000円増)



出典: 日経

リニア中央新幹線による東名阪の関係変化

◆3大都市圏の競争・連携・役割分担

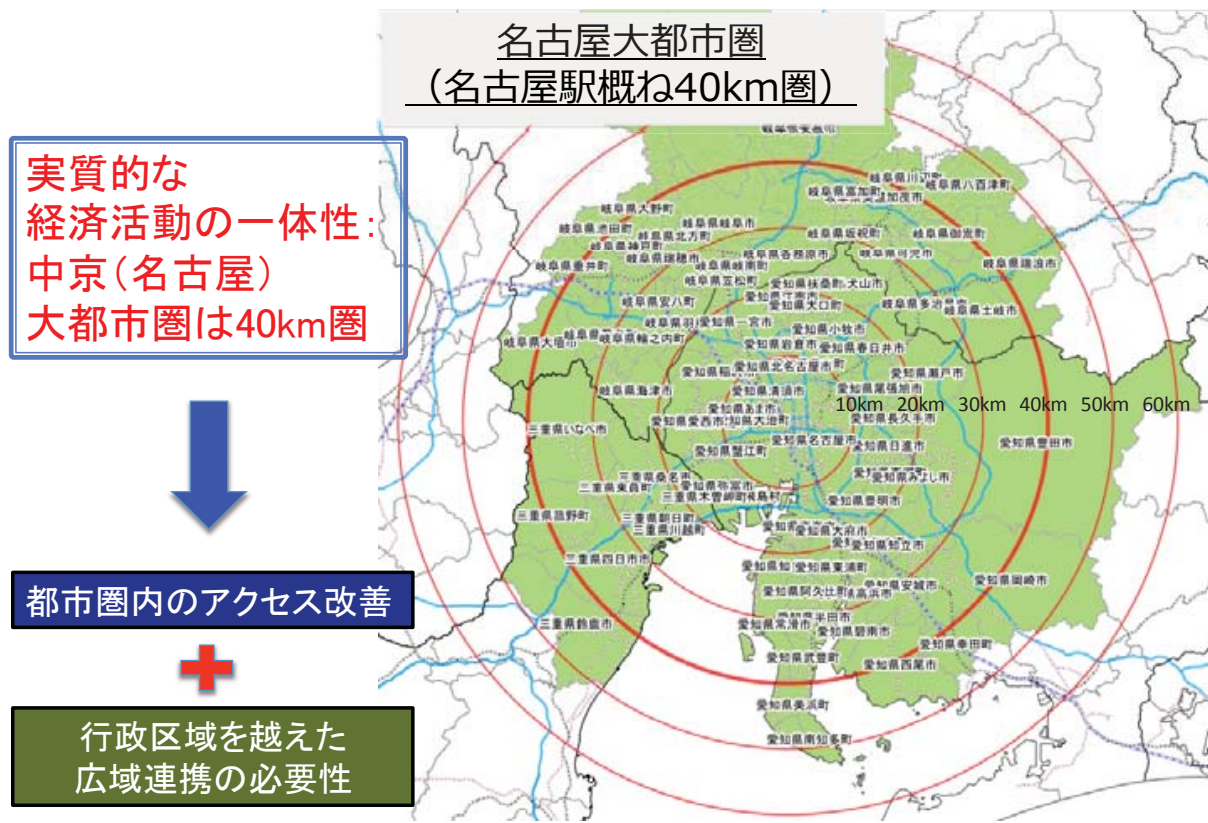
- 日本の国土構造・国土軸・国土計画をどう考えていくべきか
→「スーパー・メガリージョンの誕生」

- 日本国内および海外との交通ネットワークのあり方
(航空、国際空港の配置への影響)

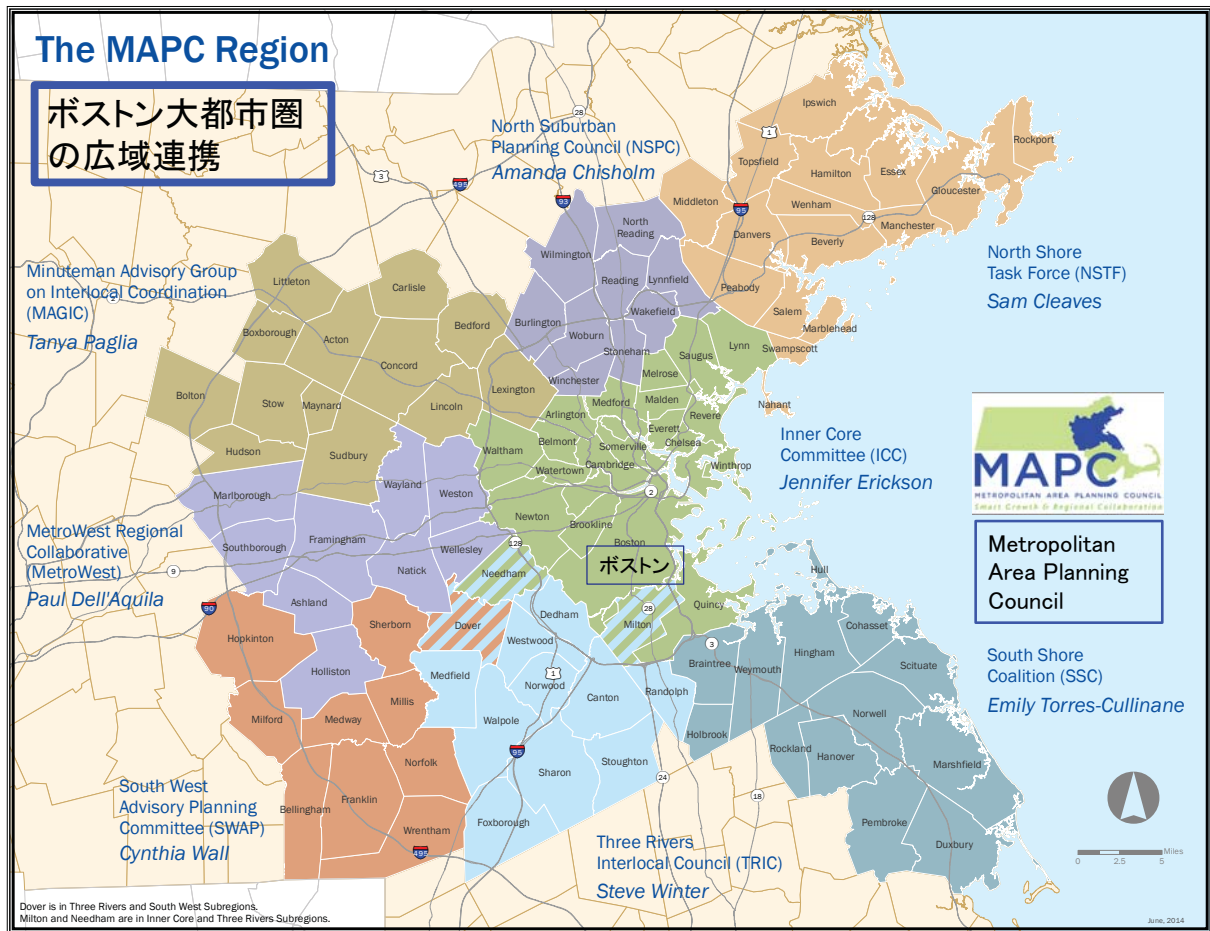
◆東海道新幹線の機能変化

- 豊橋、浜松、静岡等、太平洋側への影響
- 京都・滋賀等、名阪間への影響

3

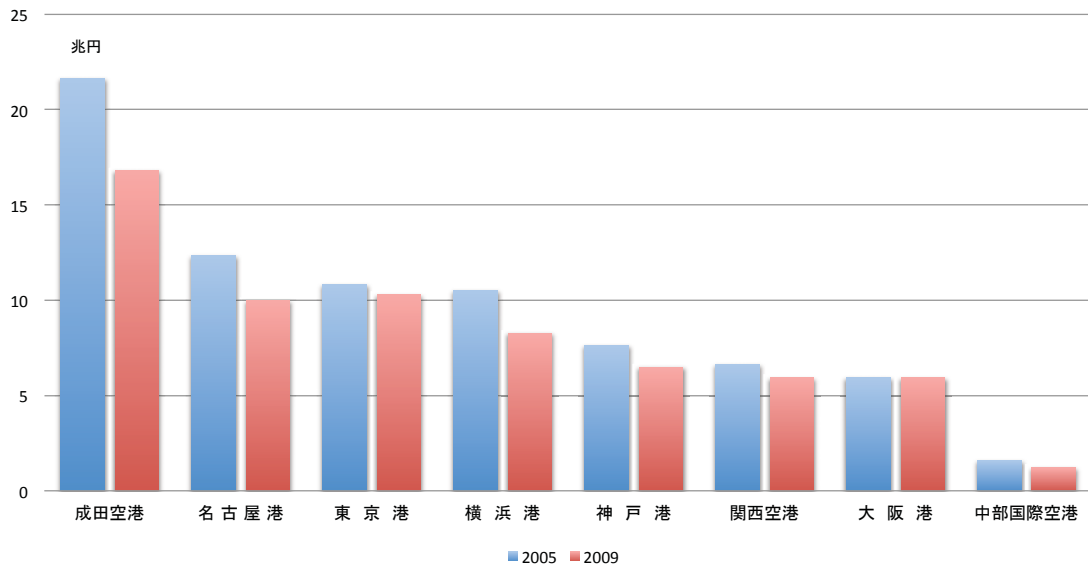


4



一方では、中部圏内の
アクセス改善や連携の
強化も重要





3大空港と5大港の貿易額

海運に比べ、航空便は利用空港に歪みが大きい:
セントレアは貨物の充実が第1の課題

7

都市の魅力とは？

都市ランキングの例: 森記念財団 2012

【GPCI-D】分野別ランキング

ランク	総合スコア	経済	研究・開発	文化・交流	居住	環境	交通・アクセス	
1	London	1452.5	1	New York	217.3	1	Paris	251.3
2	New York	1376.6	2	New York	327.5	2	東京	250.5
3	Paris	1349.6	3	Paris	133.6	3	New York	216.5
4	東京	1324.9	4	London	139.6	4	Berlin	206.3
5	Singapore	1116.6	5	Hong Kong	262.9	5	Singapore	203.2
6	Seoul	1081.1	6	Singapore	259.4	6	Los Angeles	204.3
7	Amsterdam	1056.3	7	Shanghai	253.6	7	Seoul	197.5
8	Berlin	1047.3	8	Paris	234.1	8	Chicago	187.5
9	Hong Kong	1038.2	9	Washington D.C.	231.8	10	Hong Kong	182.8
10	Vienna	1016.7	10	Geneva	229.6	11	San Francisco	182.8
11	Beijing	976.3	11	Geneva	222.6	12	Shanghai	182.4
12	Frankfurt	956.7	12	Sydney	228.4	13	大坂	181.8
13	Barcelona	954.6	13	Seoul	222.6	14	Washington D.C.	157.2
14	Shanghai	954.5	14	Copenhagen	214.7	15	Beijing	154.8
15	Sydney	952.8	15	Beijing	212.6	16	Amsterdam	152.4
16	Stockholm	951.2	16	Amsterdam	211.4	17	Amsterdam	149.3
17	大坂	942.1	17	Stockholm	208.3	18	Amsterdam	146.9
18	Zurich	937.9	18	Frankfurt	207.4	19	Sydney	141.2
19	Brussels	931.3	19	Berlin	205.9	20	Toronto	140.7
20	Copenhagen	929.7	20	Vancouver	196.2	21	Vienna	139.7
21	Toronto	925.6	21	Vienna	194.6	22	大坂	138.1
22	Madrid	906.6	22	大坂	191.1	23	San Francisco	136.3
23	Los Angeles	890.7	23	San Francisco	189.1	24	Vancouver	136.2
24	Vancouver	890.7	24	Taipei	189.1	25	Boston	137.4
25	Istanbul	875.4	25	Boston	182.8	26	Chicago	137.3
26	Geneva	875.8	26	Chicago	178.5	27	Los Angeles	136.9
27	Boston	856.4	27	Los Angeles	175.6	28	Barcelona	135.4
28	Chicago	854.1	28	Moscow	172.7	29	Vienna	133.8
29	Milan	850.5	29	東京	169.5	30	Moscow	131.8
30	Washington D.C.	836.5	30	Brussels	167.4	31	Geneva	130.3
31	San Francisco	833.3	31	Brussels	163.4	32	東京	127.0
32	東京	830.4	32	東京	162.3	33	東京	127.0
33	Taipei	827.9	33	東京	161.6	34	東京	127.0
34	横浜	826.4	34	東京	160.8	35	東京	127.0
35	横浜	826.4	35	東京	159.3	36	東京	127.0
36	横浜	826.4	36	東京	157.6	37	東京	127.0
37	横浜	826.4	37	東京	154.2	38	東京	127.0
38	横浜	826.4	38	東京	153.4	39	東京	127.0
39	横浜	826.4	39	東京	153.4	40	東京	127.0

8

名古屋の弱み：(国際)交通・アクセス

セントレアの滑走路増設

分野	項目	指標	定義
交通・ アクセス	国際交通ネットワーク	国際線直行便就航都市数	出発地もしくは到着地とする航空便の輸送実績を有する都市の合計数
		国際線直行貨物便就航都市数	出発地もしくは到着地とする航空貨物便の輸送実績を有する都市の合計数
	国際交通 インフラキャパシティ	国際線旅客数	主要国際空港の年間旅客数
		滑走路本数	主要国際空港における長さ2,000m以上の滑走路数
	都市内交通 サービス	公共交通(地下鉄)の駅密度	行政区域内にある鉄道駅数を行政区域面積で除した数
		公共交通の充実・正確さ	対象都市在勤者・有識者アンケート結果を指数化
		通勤・通学の利便性	対象都市在勤者・有識者アンケート結果を指数化
	交通利便性	都心から国際空港までのアクセス時間	主要国際空港から都心部まで公共交通機関を利用した場合の最短所要時間
		人口当たり交通事故死亡者数	人口100万人当たりの年間交通死亡事故者数
		タクシー運賃	5kmまたは3マイル走行した場合の運賃(米ドルベース)

インフラの整備・活用

❖ 空港(セントレア、県営空港)

- ・ セントレアの2本目滑走路建設と貨物輸送の充実
- ・ 2空港の役割分担の明確化(羽田の再拡張; リニアの完成前に)

❖ 港湾(名古屋港、四日市港、伏木富山港:北陸との連携強化)

- ・ 地元の経済規模に応じた機能の維持・向上(港湾計画の改定が進行中)
- ・ 大型の貨物船・観光船への対応
- ・ 浚渫土の処分場の確保(ポートアイランドの土砂の再処分も課題)

❖ 道路

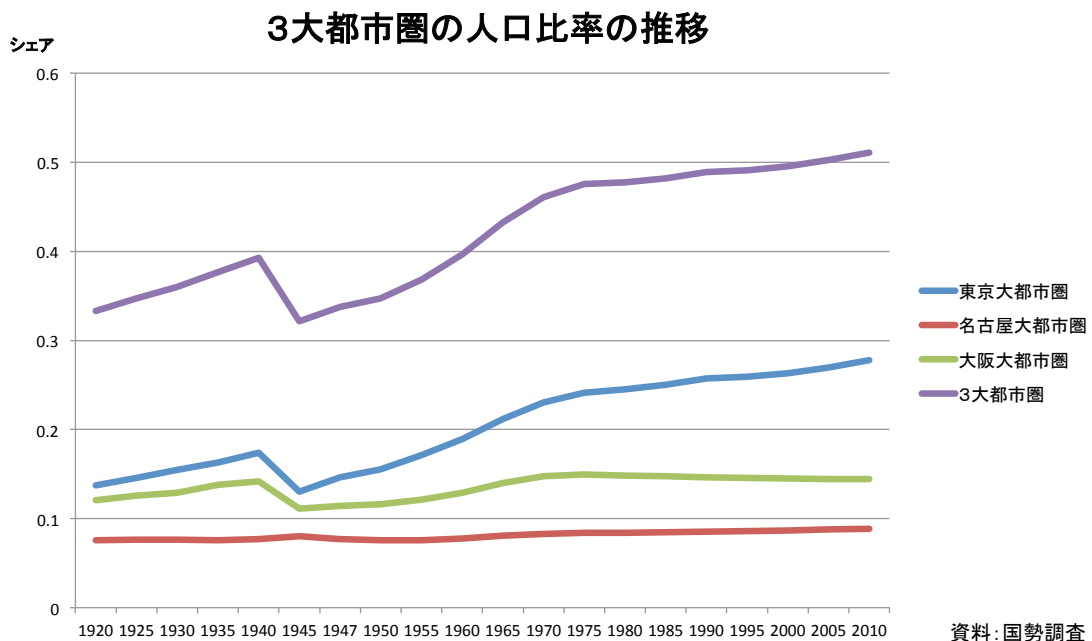
- ・ 新東名、第2名神、東海環状西側などの完成
- ・ 東海北陸自動車道4車線化:北陸との連携強化
- ・ 広小路の歩行者優先化(車線減)による繁華街の“にぎわい”創出

❖ 鉄道（都市圏内および中部圏の連携）

- 都市圏内の地域へのアクセス改善
（40分以内へ：現状では、名古屋－豊田間：鉄道で60分、自動車で50－60分）
- 名駅（迷駅？）の再開発による各線の連結と歩行者動線の改善
- 高山本線の高速化（とくに高山－富山間：北陸との連携強化 ↔ 北陸新幹線）
- 東海道新幹線沿線の再活用・活性化
（例：“ひかり”の増発による豊橋、浜松、琵琶湖東岸との連携強化）
- JR/私鉄/地下鉄の相互乗り入れの改善（乗り継ぎ料金の見直しなど）
- 城北線の勝川駅連結

❖ 公園・緑地（名古屋市を中心部が不足：環境の評価減）

❖ 河川（堀川、中川運河等の浄化） → 観光資源にも

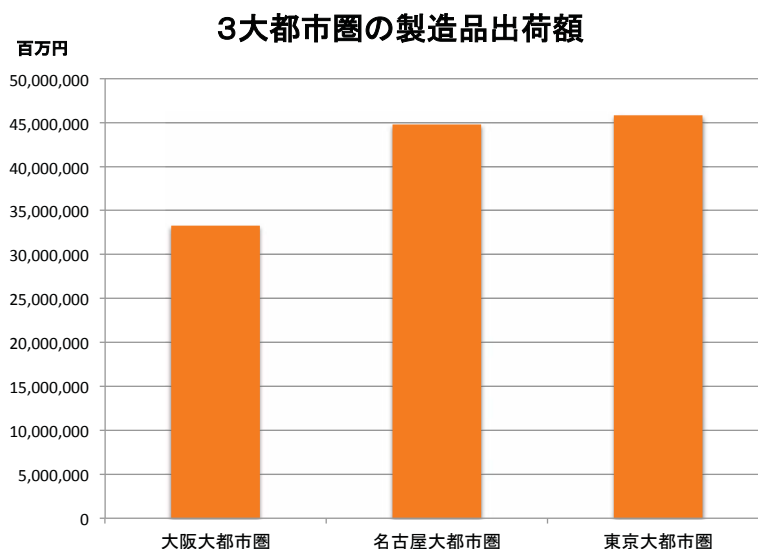


すでに日本の人口の過半数が3大都市圏に居住しているが
人口集中はより進む可能性が高い！

注：東京大都市圏：東京+埼玉+千葉+神奈川、名古屋大都市圏：愛知+岐阜+三重、
大阪大都市圏：大阪+京都+奈良+兵庫

静岡、滋賀
は含まない

名古屋の強み: 製造業



出典: 平成24年工業統計表

スーパーメガリージョンの誕生後もさらに活かすべき

13

➤ ポスト自動車産業の育成

- 電気・燃料電池自動車による技術的制約の緩和
→ 比較優位の急激な変化(「内創外産」へ)
- 航空(宇宙)産業の成長
- 車両製造・輸出(新幹線)
- 種々の高度な部品製造(「貿易のフラグメンテーション」)
例: 中小型液晶パネル(シャープ 亀山)、樹研、製造機械
- 業務サービス業のより高度な集積
(リニアにより、金融、広告、情報 は東京でも可か)

➤ 中枢管理機能の獲得

- 単なる生産現場から、技術創造の中心へ
- 企画・管理機能を担い、高い付加価値を生む都市圏への脱皮
(名古屋港の大幅な貿易黒字が意味するものは?)

14

名古屋の弱み：文化・交流

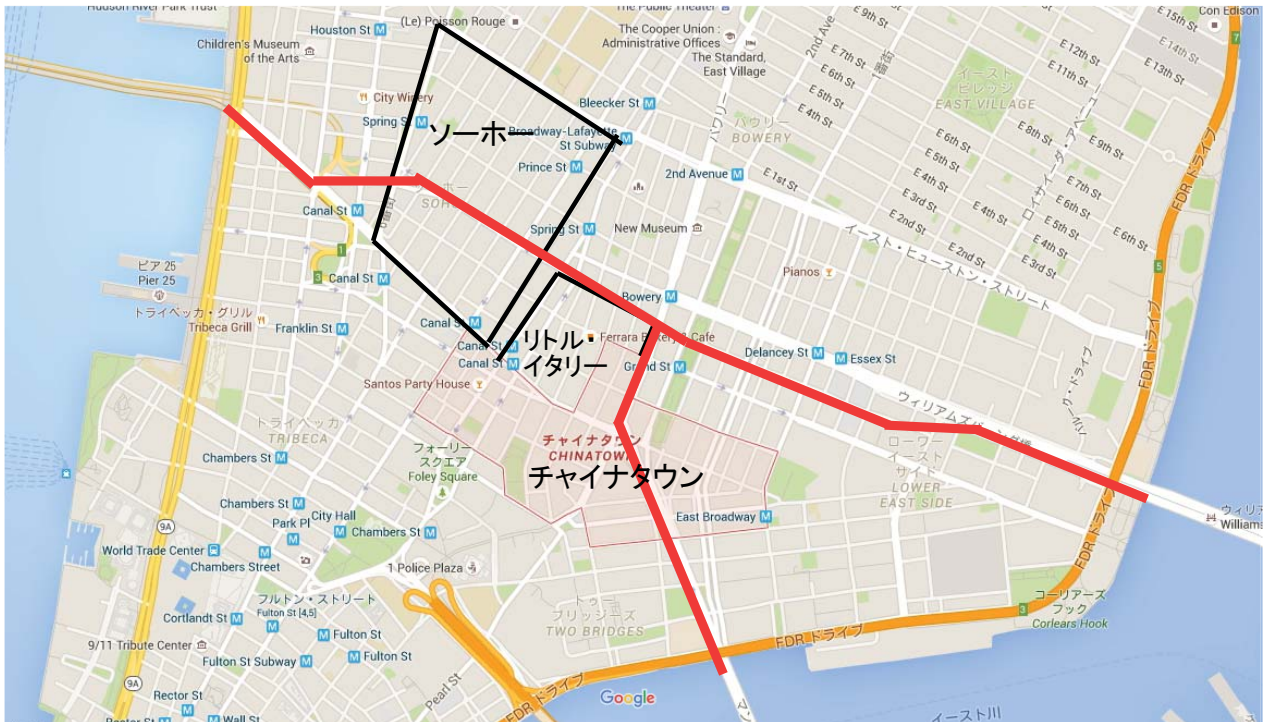
分野	項目	指標	定義
文化・交流	交流・文化発信力	国際コンベンション開催件数	「Union of International Associations」による国際会議開催件数
		主要な世界的文化イベント開催件数	世界的な文化イベント(五輪、BIE認定の博覧会、五大映画祭、五大ファッションショー、テニス四大トーナメント等)の開催件数
		コンテンツ輸出額	UN Service Trade「Audiovisual and Related Services」の国別輸出額から推計
	集客資源	アーティストの創作環境	対象都市在勤者・有識者アンケート結果を指数化
		ユネスコ世界遺産(100km圏)	対象都市から100km圏内に所在する数
		文化・歴史・伝統への接触機会	対象都市在勤者・有識者アンケート結果を指数化
	集客施設	劇場・コンサートホール数	Lonely Planet, Timeout, 地球の歩き方に掲載されている劇場・コンサートホールの数
		美術館・博物館数	Lonely Planet, Timeout, 地球の歩き方に掲載されている美術館・博物館の数
		スタジアム数	スタジアムデータベースサイト(World Stadiums)において掲載されているスタジアムの数
	受入環境	ハイクラスホテル客室数	Yahoo Travel, Expedia, Five Star Allianceで5つ星以上のホテルの客室数
		外国人の居住環境改善 (例：インターナショナルホテルの充実)	外国人の居住環境改善(例：インターナショナルホテルの充実)
		昇龍道プロジェクト・観光担当組織の統一	昇龍道プロジェクト・観光担当組織の統一

文化と産業：ニューヨークの先例

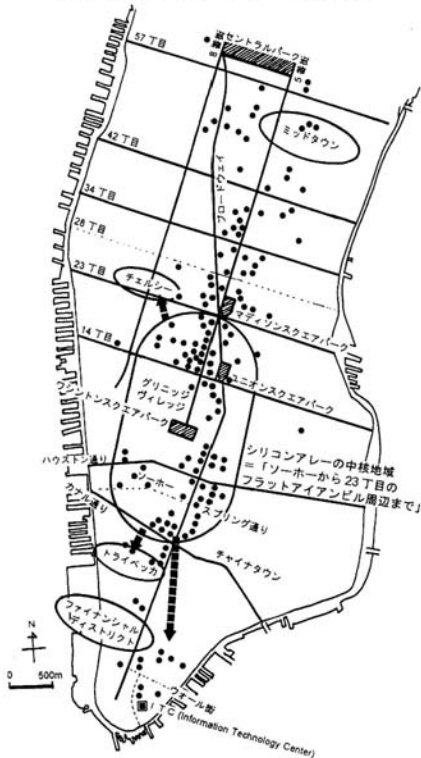
J.ジェイコブズとR.モーゼスの闘い



ローメックス(ローワー・マンハッタンexp. way)の計画路線



ニューヨーク シリコンアレー広域地図



(注) ● マルチメディア企業
 ■ シリコンアレーの発展方向
 (出所) Silicon Alley Reporter (1998) 他を参考、現地調査データを追加して小長谷作成。

小長谷・富沢編著、マルチメディア都市の戦略、東洋経済、1999より

J.ジェイコブズの既成市街地 保全運動の長期的な成果

NYC等のパターン

産業構造の変化



対応できない地区がさびれて
地価が低下



芸術家が住み着く



ジェイコブズ＝フロリダ的な
活力により、先端産業が芽
生える

モーゼス的な強制によらない
一種のジェントリフィケーション

ソーホーの芸術家・画廊はチェルシーへ(1990以降)

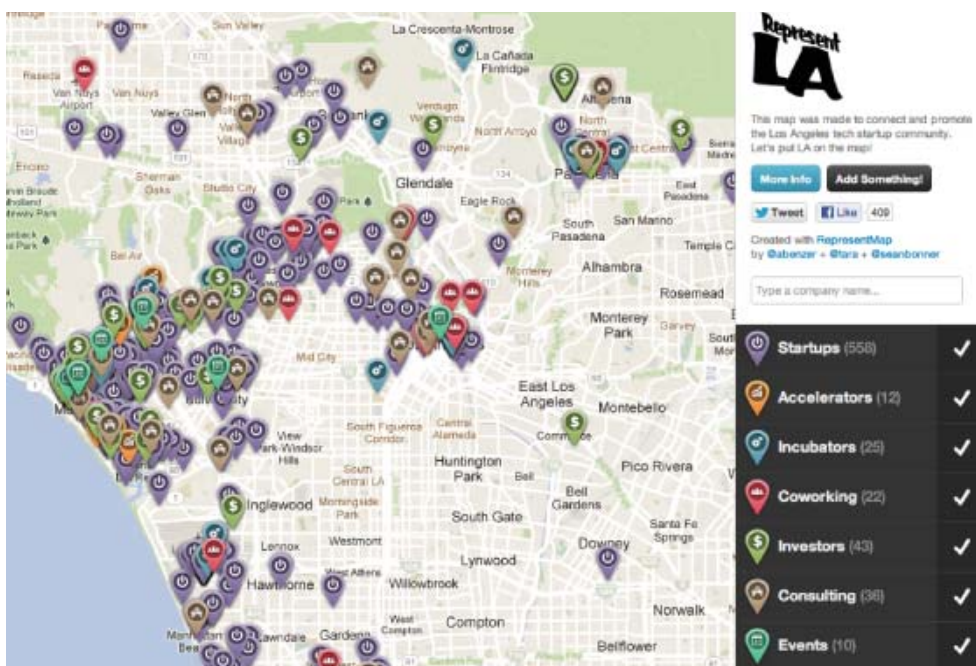
● : 画廊



ハイライン: 新たな観光名所に



- ・ 不動産価格がシリコンバレー、アレーに比べて安価
- ・ 開放的で自由な雰囲気
- ・ 芸術家、俳優、写真家、演出家等多数
- ・ 多くの人種が混在
- ・ ハリウッドに近い





秋葉原

家電・電気街



メイド・カフェ

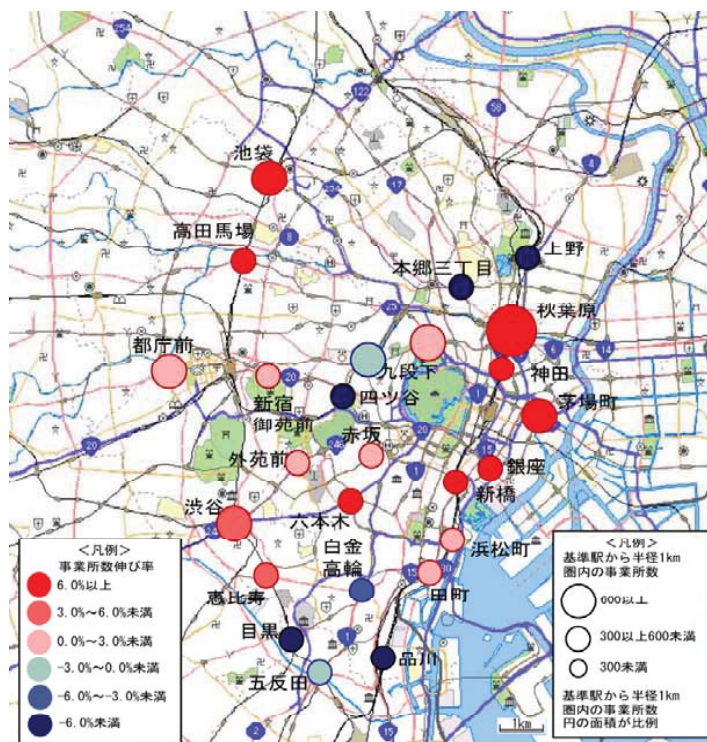


IT ベンチャー



東京におけるIT 産業の新規立地

図表 13：事業所数伸び率（東京都心部・2005 年 3 月～2006 年 3 月の 1 年間）



2005.3 - 2006.3

アキバ 第1回
ベンチャー・ピッチ
2015. 7



“しゃべる抱き枕”



秋葉原に本物が集まった（写真はしゃべる抱き枕『痛すぽ』ジョイアス内村康一代表）
写真：高橋智

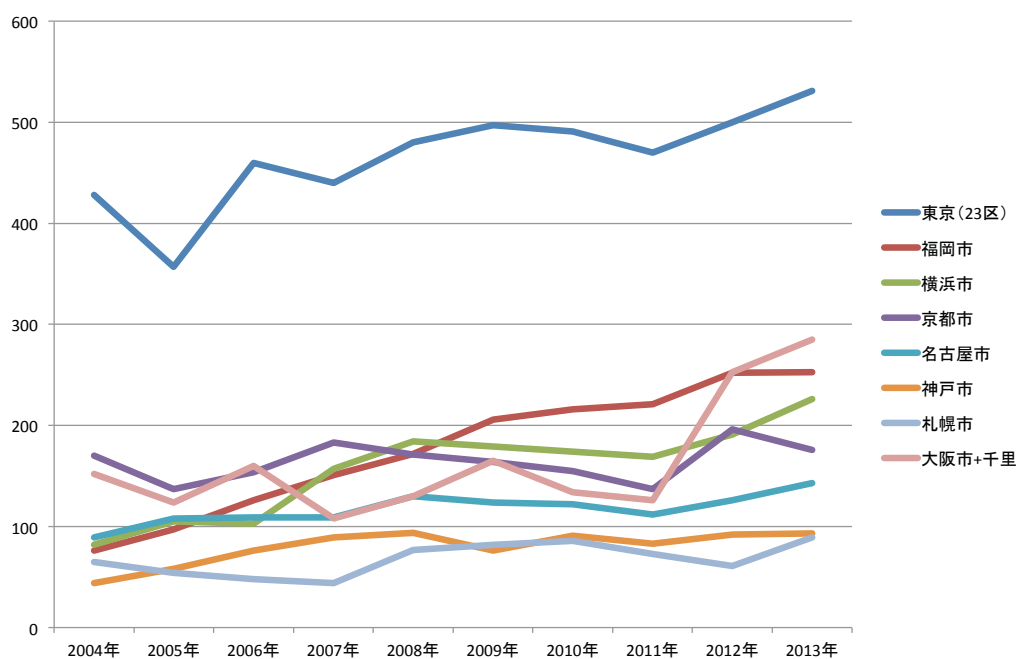
“厚さ2 mmのスピーカー”



スタートアップが力を誇示した（写真は全番組録画機『ガラボン』保田歩代表）
写真：高橋智

23

都市別の国際会議件数



出典: JNTO

24

資料7 アジア大洋州・中東地域の都市別国際会議（2014年（平成26年））

2014年 アジア大洋州・中東地域順位	2014年 世界順位	都市	2014年 開催件数
1位	7位	シンガポール	142件
2位	14位	北京	104件
3位	15位	ソウル	99件
4位	16位	香港	98件
5位	20位	台北	92件
6位	22位	東京	90件
7位	25位	シドニー	82件
8位	28位	クアラルンプール	79件
9位	29位	バンコク	73件
		上海	73件
11位	37位	メルボルン	61件
12位	44位	ドバイ	56件
13位	54位	京都	47件
14位	58位	済州	41件
15位	66位	パリ	38件
16位	67位	プリズベン	37件
17位	69位	釜山	35件
		ニューデリー	35件
26位	125位	札幌	19件
30位	134位	横浜	18件
34位	152位	奈良	16件
		沖縄	16件
38位	164位	福岡	15件
		神戸	15件
47位	208位	名古屋	11件
49位	222位	大阪	10件

注）国際会議協会（I C C A）統計より観光庁作成。

出典：H27観光白書；
算定基準はJNTOとは異なる

25

MICEに関連する基本的課題

1. 事務体制の整備について

（現状）

○名古屋コンベンションビューロー

MICEのサポート、観光振興（名古屋コンシェルジュ）、
国際展示場の管理（with コングレ）

○名古屋市産業振興公社

産業振興、中小企業支援、国際展示場・吹上ホール等の管理

○愛知県観光局

MICEのサポート、観光振興（あいコンシェルジュ）、国際展示場の計画立案？

（改革案の例）

◎県・市のMICE・観光の振興機関の統合・強化（cf. 東京観光財団）

◎MICE・観光担当の機関と、産業振興機関の再整理

26

2. 関連施設の整備について

❖ 国際展示場

- 県・市の協働による早急な立地を含めた計画決定
- 最終的に10万㎡を目指すとしても、段階的整備が必要
- 第1歩は2020年の東京オリンピックまでに整備する必要あり(cf. ビッグサイト)
- 金城埠頭に建設する5000台の駐車場を無駄にしてはいけない
- 金城埠頭での拡張には、港湾機能との更なる調整が必要
- 稲永埠頭の場合は、道路整備等が大規模になる

❖ 国際会議場

- リニアの工事に併せて名駅西側に移転という案も有力(e.g.,東京国際フォーラム)
- 白鳥の現会議場をどうするか

27

昇龍道プロジェクトの 経済的意義は大きい

観光も重要な貿易 !!

県・市の関連HPと
昇龍道のHPの
相互リンクを張るなど、
中部圏としての
提携強化が必要

